

立華通 イタリヤ 生物學者 理學博士。明治二十五年十月一日東京生れ、

昭和五十七年六月十六日没（元二一八二）。同學立淺次郎の二男。昭和

二年東京帝國大學理學部動物學科卒。ドイツ留學。十四年東京義理科

大學（のち東京教育大學）教授、四十年日本動物學會會長、翌年國學

院大學教授。

譯著書、J・ハツクスリ著『死とは何か―その他』（譯、昭和十二年

十一月）千白白岩波書店「岩波新書」( )、『ナニ鐵科學』（合著、今井喜

孝・林 謙 新編、昭和十六年六月）千白白三番堂( )、『獨創いんじん』（座

談）( )（共著・緒方富雄編、昭和二十年十一月十五日生活社「日本叢

書」( )、『私たちのことと心袋』（合著、日本放送協會編、昭和二十二年

九月五日日本放送出版協會( )、『習性とならぬか』（織田秀実編、昭

和二十年一月）千八百九十書房( )等。